

水稻生産情報 8月号

登熟期を迎えており、気温に応じた水管理に努めましょう。
『適期落水・適期刈取』で、『胴割米』の発生を最小限に抑えましょう。

生育状況

7月以降、高温多照で推移したため、つがるロマンの出穂期は平年よりも5日早い7月31日となりました。
出穂後10日間の最高気温が平年より高く推移したことにより、胴割粒の発生が懸念されます。今後も気温に応じた水管理が必要となります。

農協管内の出穂状況（生育観測圃）

品種	出穂始	出穂期	穂揃期	出穂期(平年)
つがるロマン	7/29	7/31	8/2	8/5
まっしぐら	7/25	7/28	7/30	8/6
青天の霹靂	7/24	7/27	7/29	8/3

今後の水管理

■登熟期～落水まで

収穫までは、根の機能を低下させないことが重要になります。早すぎる落水は、玄米の肥大が抑えられるとともに、胴割米の発生を助長するので、適期落水に努めましょう。

最低気温が15℃を下回る場合は、10cm程度の深水で保温に努めて下さい。
最高気温が30℃を超える場合は、水の入替換え(間断かんがい)やかかけ流しを行い、水温の低下に努めて下さい。

高温による着色粒（黒点症状米）



落水時期の目安	乾田	出穂後30～35日から
	水が抜けにくい湿田	出穂後20～25日から
	登熟が遅れている水田	穂の熟色や稔実程度を観察しながら徐々に落水

高温による胴割粒



カメムシ対策

『畦畔の草刈りは、8月末ころまでには行わないで下さい。』

カメムシは畦畔や空き地に生えているイネ科雑草の穂を好んで吸汁しています。草刈りをすると、エサとなるイネ科雑草が無くなるため水田へ侵入します。稲穂が固くなる8月末ころまで（出穂4週間後）草刈りは行わないで下さい。

※航空防除は下記の日程で終了いたしました。

	散布薬剤	散布日
1回目（いもち病）	ビームゾル	7月22・23日
2回目（カメムシ）	スタークル液剤	8月11・12日

着色粒混入の限界（1,200粒中）

等級	1等	2等	3等	規格外
混入限界	1粒まで	3粒まで	7粒まで	8粒以上



適期刈取の目安

水田ごとに登熟の進みにバラつきがあるため、積算気温だけでなく、実際の水田や穂の状態を確認しながら、適期に刈取りしましょう。

- * 水田全体の籾が9割黄化した時期
- * 枝梗の3分の2程度が黄化した時期
- * 1穂の青未熟粒が1割程度に減少した時期

積算気温からの刈取り予想（8月15日現在）

品種	出穂後積算気温	管内平均出穂日	刈取り適期
つがるロマン	960～1,150℃	7月31日	9月11日～9月21日
まっしぐら	960～1,200℃	7月28日	9月8日～9月20日
青天の霹靂	900～1,100℃	7月27日	9月4日～9月13日

※ 積算気温は、出穂期から日平均気温を毎日加算したもの

水稻栽培履歴は収穫が終わり次第、支店窓口まで提出をお願いします！